

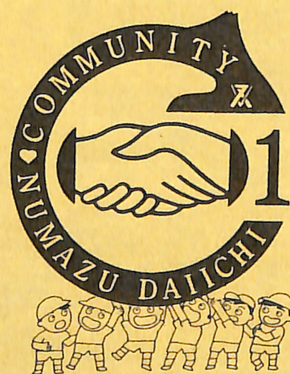


コミュニティぬまづ第一

沼津市第一地区コミュニティ推進委員会広報紙 第7号 平成10年10月1日発行

『第三十六回 第一地区体育祭』

真砂町が 連続優勝



田村実行委員長を中心に、体育部をはじめ各部の協力により運営された「体育祭」は九月六日（日）第一小学校グラウンドで開催されました。前夜の雨でもかかわらずまずまずのランドコンディションのなかで競技が行われました。

開会式では、副島会長の挨拶のあと、来賓の五月女沼津市教育長、一中藤田校長、一小佐野校長から「地域の方々と年齢を越えた交流」「体を動かすことの楽しさ」「地域の方々との協力の大切さ」などの挨拶をいただき、真砂町・小沢体育部長の力強い選手宣誓があり、全員で準備体

操のあと、力走百メートルを皮切りに、十八の種目に楽しく汗を流しました。

今年は天候不順で、各町内とも練習が思うようにできず実力を十分発揮できないまま



▶ 人生航路ファミリー賞
喜びの鈴木さん一家

平成10年度 第一地区コミュニティ祭

・日時 平成10年11月15日（日）

9:00～15:30

・場所 第一地区センター・一小体育館

・展示の部

書画・絵画・生け花・盆栽・手芸・陶芸
折り紙教室・囲碁将棋大会・趣味の教室
防災パネル展など

・芸能の部

楽器演奏・合唱・奇術・民踊・日舞など

・アトラクションの部

コミュニティ五種競技

※詳細はコミ新聞の折り込み3枚に記載してありますので、御一読ください。

（コミュニティ祭実行委員会）

競技を行い、残念な思いをした選手も多かったのではないでしょう。

毎年のことですが、一中の生徒の積極的な活動により、大会運営がスムーズに行われ

たことも見逃せません。

町内対抗の結果は、男女とも人生航路で一位の真砂町が昨年に続き優勝、添地町の大活躍などで幕を閉じました。

これを機会にスポーツに、地域活動に取り組んで欲しいと思います。

大会開催にあたり、ご協力していただいた方々に紙面を借りてお礼申し上げます。

（市川保）
体育部長

順位	町名	得点
優勝	真砂町	23
優準	添地町	21
三位	丸根町	21
四位	銀町	20
五位	大手町	20
六位	本通合	15
七位	連幡町	14
八位	八幡町	14
九位	末広町	11
十位	西条町	8

『環境美化指導員』



環境美化指導員制度は、平成七年十月に「沼津市まちをきれいにする条例」が制定され、それに基づき創設され、

八年四月一日に施行されました。この条例は「地域の和」を基本理念に、タバコや空きカンのポイ捨て、犬の糞処理等の環境美化を実現しようとしたものです。

環境美化指導員制度は、日本で初めて各町内に一人の指導員をおき、環境美化を推進していく沼津方式なのです。

沼津市の二十七連合会の代表の連絡会に合わせ第一地区でも、年四回の定例会、年四回の巡回指導を行ってきました。各町内の指導員さんが、それぞれの町内で空きカンのポイ捨て、ゴミ処理等の指導やPR活動を行い、少しでも環境美化に役立てようと推進してきました。

しかし、まだまだタバコのポイ捨てや犬の糞の処理が余り出ていないという報告が数多くありました。

定例会では、いろいろな意見が出され、それを前向きに実行してきました。その中で特に二点を取り上げます。

蛇松緑道の犬の糞と空きカンが多いので、市の木の剪定の時に、下を三十センチ位刈り込んでほしいという意見があり、前回剪定時には良く刈り込んでありました。

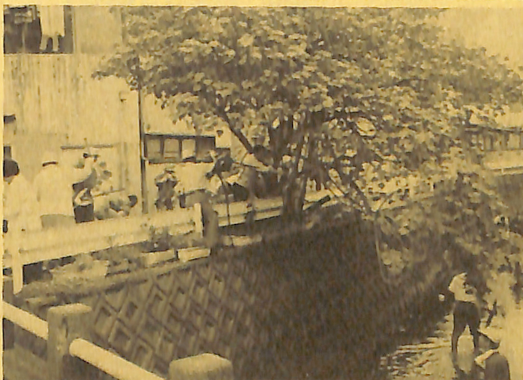
もう一点は、子持川を綺麗にして欲しいと言う意見から常任委員会に提案し、子持川に關係ある第一・千本・第二の各町内の協議で「子持川水系をきれいにする会」が発足しました。そして昨年今年と二回の清掃を關係各町内の協力で行い、多くの方の参加で非常に綺麗になりました。

沼津市でも川に下りるための鉄の階段を四箇所設置し、また余分な土砂を取り除いてくれました。

環境美化といっても、結局一人ひとりのモラルの問題でタバコや空きカンのポイ捨て犬の糞処理等一人ひとりが気をつけていただきたいと思えます。

沼津市の中心地域として、多くの市民が集まる場所です。お互いに注意し合って、「きれいなまち第一地区」をつくりましょう。

（環境美化指導部長 白壁 稔）



成人式は一月十日に開催

第一地区の成人式は、平成十一年一月十日(日)に例年どおり「高砂殿」において開催の予定です。

新成人の皆さんには、沼津市より十二月下旬までに、ハガキで案内状が届けられます。学生や就職で沼津以外に在住の新成人の方も出席することになります。出席希望の方には案内状をお送りいたしますので、各町内の青少年育成推進委員会の方に、ご家族の方

からご連絡ください。

（青少年育成推進委員会 酒井 明）

お問い合わせ先電話番号 六二一九八八・酒井

インターハイで優勝

八幡町の前田さん

四国で開かれた全国高校総体(インターハイ)のフェンシング女子エペ個人で八幡町在住の前田友紀さん(沼津東高二年生)が見事に優勝しました。これからも大活躍するよう期待しております。

今こそ意識改革を

井口 八千喜

「女性問題」この言葉は日常的に目から耳から入ってくる昨今ですが、これをして男性いづく「男性問題」もあっていいのではないかと。

正にそのとおり。生活の多様化に伴い家事は省力化し、少子高齢社会、女性の高学歴社会進出化、核家族化等々、社会形態が変わってきた現代、男性、女性の役割も社会に沿った分担が必要になるわけです。

今こそジェンダーフリーの立場で、一人の人間として、それぞれの個性や能力を発揮でき、一人ひとりが幸福に生きられる社会こそ男女共生社会だと思います。その実現に向けて、今こそ男性も女性も共に意識改革をしていくことが、先ず急務だと考える今日です。

(社会福祉部長)

◆災害は怖い・無防備はもっと怖い◆

その時、あなたは

自分を守れますか。

日頃の備えを

しっかりと

・住まいの安全チェック
・非常持ち出し品の準備
・避難場所や経路の確認
・防災訓練への積極参加

右は防災の日(九月一日)を前に八月三十日(日)国土庁・政府広報として、全国の新聞に一斉に掲載した防災広告文です。

国土庁が防災意識の啓発と高揚を図ったものです。◇日本は地震の多発国です。私達は地震の発生を防ぐことは出来ませんが、日頃の防災対策により、被害を最小限に食い止めることは可能です。◇防災対策の基本である「防災マニュアル」も最近、県・

地震 防災マニュアル

「自分の命は、自分で守る」



市により発刊され、全戸配布されています。また、阪神淡路大震災の貴重な体験を題材とした、防災VTRも沢山でています。

◇それぞれを参考にして、家族で相談し「わが家の防災マニュアル」を作りましょう。

自分達で作った手作りマニュアルが一番身につきます。

◇第一地区は自治会を単位に十三の自主防災組織が結成されています。九月一日県下一斉総合防災訓練には、それ

ぞれの計画で、九自主防災組織が訓練を実施(四自主防災組織は以後実施予定)し、その参加人員はに二九五人(昨年は十二自主防災組織四八七人)でした。

十二月六日(日)県下一斉地域防災訓練には、昨年の参加人員(七二〇人)を上回りたいものです。

◇阪神淡路大震災も三年余りが経過し、尊い経験も風化されつつあり、静岡県民の自主防災活動に参加する意識も希薄になっているとの声もあり今一度住民自らが必要性を再認識する必要があるとの指摘もあります。

◇「自らの身は自らで守る」「自らの地域は皆で守る」の防災の原点に今一度立って災害がいつ襲ってきても、ビクともしない、家庭と社会の備えを作りたいものです。皆で取り組みましょう。

〔防災指導部長
鈴木 哲雄〕

かけこみ110番のいえ設置数

平成10年9月4日現在

町 名	設置報告数	小学・児童数
志多町	4	11
町方町	9	11
上本通町	20	12
上土・川廊町	5	15
添地町	32	18
八幡町	17	22
西条町	26	23
錦丸子町	14	28
末広町	14	35
白銀町	20	37
大手町	32	45
真砂町	20	59
合計	213	316

ただいま設置マップを製作中です。少々お待ちください

たくさんのご協力ありがとうございます

かけこみ110番のいえ

設置数2100を早くも突破

六月から皆様にお願いたしました「かけこみ110番のいえ」の設置参加数が早くも二〇〇軒の大会を突破しました。これは第一小学校の児童在籍世帯数とくらべると、ほぼその九割に相当するといふ、すばらしい成果となります。あらためて皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。そしてさらにうれしいことです。今も設置に追加登録してくださるお宅が増えつづけていることです。このような地域の方々の子供達に対する深い思いやりや参加意識が第一地区の、安全な住みやすい環境を作り上げているのだと思います。今後ともぜひご協力をお願いいたします。

資源紹介 第一小学校創立百三十周年 その二

大切にしたい「慰霊祭」のこころ

九月五日、一小体育館において沼津仏教会の御協力により慰霊祭が行われました。恒例の行事ですが、皆さんは慰霊祭のことを御存じでしたか。

この慰霊祭は、昭和二年、一小在職中に亡くなられた教職員のために「英魂の碑」を、在学中に亡くなられた児童の為に「学児哀悼の碑」を建立し、沼津城主大久保忠佐(ただすけ)侯の命日でもある九月二十七日に道喜塚を墓場として、慰霊祭(魂祭)を「ままつり」を行なったことが始まりだそうです。

その後十二年間続き、そしてしばらくの中断のあと昭和四十三年に創立百周年記念行事の一ツとして「教職員児童慰霊碑」を建立し、道喜塚と併せて創立記念日の九月十二日にこの慰霊祭を再び行うようになったそうです。

以後今日まで三十二年間続いており、通算で何と四十二回目七十二年の歴史ある行事なのです。もちろん沼津市では

現職および在学者で亡くなられた方々のご氏名
昭和20年度以降/敬称略

氏名	生年月日	逝去年月日	ご遺族	住所
佐藤金平校長	明治38. 9.15	34. 2.18	佐藤 久子	下香貫宮脇296-2
菊地伸一教諭	大正15.12. 8	44. 7.12	菊地由美子	上香貫宮原1517
杉山五郎校長	大正12. 2.15	55.12. 9	杉山英美子	御幸町6-6

氏名	生年月日	逝去年月日	ご遺族	住所
古川 正浩	昭和23. 8.27	30.12.12	古川 七郎	本真砂町277
武藤 俊一	25. 8. 1	34. 9.22	武藤 正俊	真真砂町290
伊藤 光時	25.11.22	34. 9.27	伊藤 潔	西条町93
杉山 真彦	27. 9.23	38. 9.15	杉山 賢二	錦町671
柳瀬 雅彦	27.11. 5	38. 9.15	柳瀬 禎子	西条町20-1
向笠 成明	27.12.24	38. 9.15	向笠 清子	本錦町656-5
室内 明広	34.11.10	41. 8.29	室内 次郎	丸子町749
河内 藤都	33. 4.12	42. 7.13	河内 寛之	添地町66
工藤 幸人	37. 3.17	43.11.21	工藤 弘	小諏訪351-1
横山 幸久	35. 8.10	44. 4.23	横山 信男	真砂町3-9
森 道也	33. 5.26	45. 8. 3	森 磯司	添地町275
小林 明	33. 5.26	47. 3.16	小林 三男	添地町166-4
鈴木 明	40. 3.10	51.10. 3	鈴木 千恵子	丸子町611-9

○ご出席者 ※没・不明につき案内状発送せず(菊地様はクリスチャン)

沼津第一地区

戦後の歩み

(その7)



23. 旧国鉄・沼津港線が蛇松緑道に。

廃線となった旧国鉄沼津港線・通称蛇松線の跡地を昭和51年から56年にかけて緑道として整備した。地域の防災避難路や防火帯を兼ね、朝夕には散歩道として、休日には憩いの場として住民に親しまれている。

24. 沼津保健センター・青少年教育センターが開設。

市民の健康の保持および増進を図ることを目的とし、健康相談、健康教育、健康診査、栄養指導、予防接種等の対人保健サービスを総合的に実施する施設として、昭和61年4月に開設。延床面積 3,600㎡、建設費用は、9億2千万円。同年玄関前にタイムカプセルが埋められ、2001年 3月25日に開けられる予定。

エフエムぬまづが開局

沼津に、コミュニティ

F Mラジオ局が誕生。

八月二十三日本放送を

開始しました。「コース

トエフエム」(愛称)で

は、地域の話題や生活に

役立つ情報を楽しい音楽

とともに放送。また災害

時には、情報伝達手段と

ニュース



して緊急放送を行うなど、市民生活に密着した放送を提供してくれそうです。

エフエムぬまづでは、市民からの情報提供を期待しております。市民のためのラジオ局「F Mぬまづ」にご協力をお願いいたします。

編集室だより



▼第一地区センターの利用者が早くも三万人を達成した。三万人目となった大手町の主婦八木春美さんに記念品が贈られた。地区センターの利用者は急激に増え、ほぼ一年四カ月で三万人を突破した。

▽七月の納涼祭、九月の体育祭ともに皆様の活躍で無事終了。ご協力に感謝します。

▼十一月のコミュニティ祭も実行委員会でき々と準備していますが、主役は参加する皆様です。皆様のパワーで祭りを盛り上げてください。

